

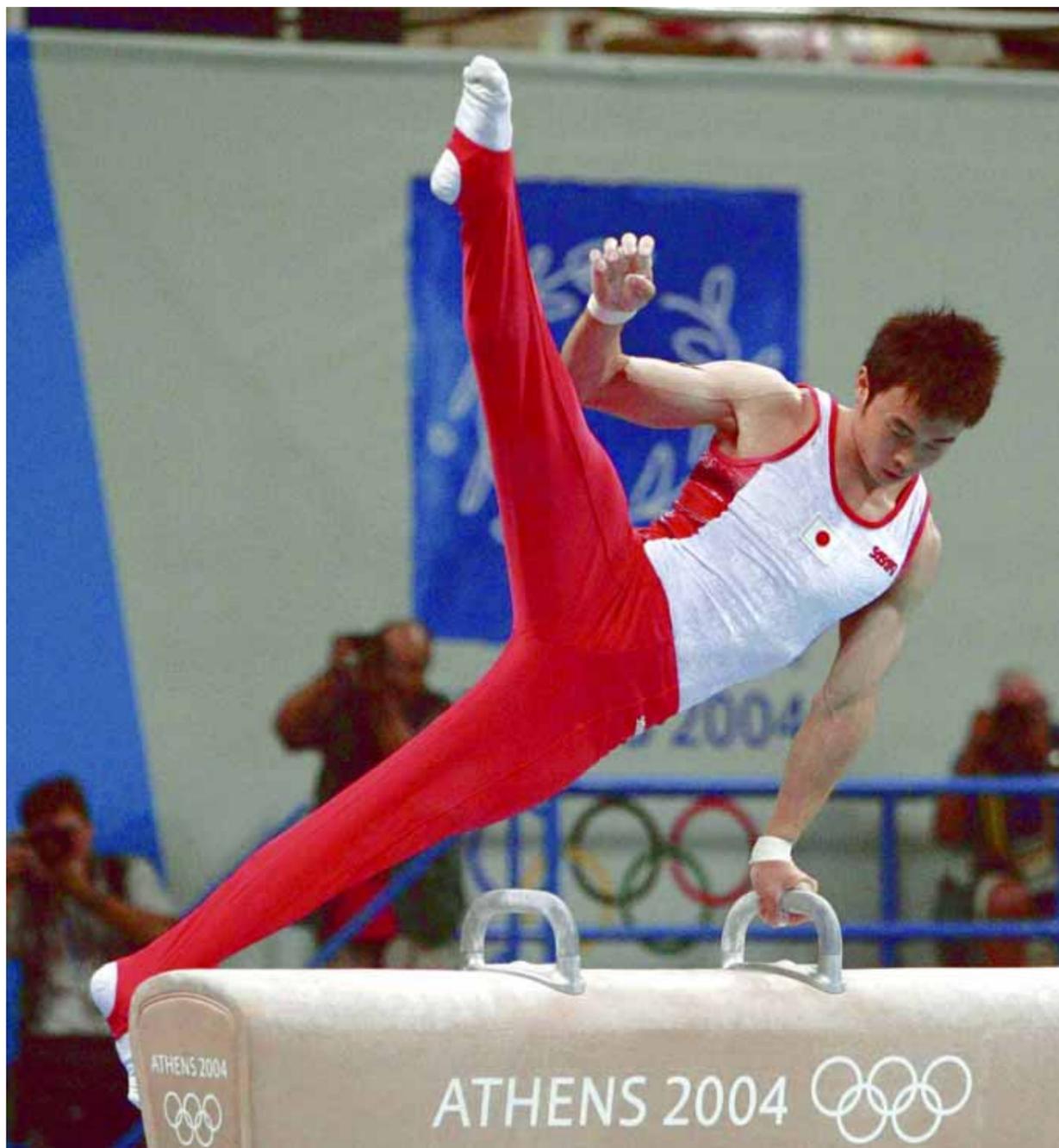
# 鹿島、種目別で銅

# あん馬で28年ぶりメダル

【アテネ二十一日共同】  
体操は種目別決勝の男子  
3、女子2種目を行い、男  
子はいん馬で昨年の世界

選手権優勝の鹿島丈博が  
銅メダルを獲得した。日本  
勢のこの種目でのメダル  
は7大会28年ぶり。

つり輪の富田は4位。床  
運動の中野大輔は6位、米  
田功は7位。



男子種目別決勝 銅メダルを獲得した鹿島丈博のあん馬＝屋内ホール（共同）

表彰台では口を真一文  
字に結んでいた。銅メダル  
が決まった直後もちよつ  
と下をうつつむいた。「悔し  
さ半分。うれしさ半分で  
す」。体操の男子種目別の  
あん馬で、昨年の世界選手  
権に続き「金」を目指した  
鹿島丈博選手(24)に弾  
ける笑顔はなかった。  
約40秒の演技。華麗な  
旋回で世界王者の貫録を  
アピールするはずだった。  
本人も「表彰台の真ん中を  
狙っていた」。だが、普段  
は出ないような小さなミ  
スを2回してしまった。演  
技を終えた直後は軽く右  
手を上げて声援に応える  
だけ。試合後のインタビュ  
ーでも何度も唇をかんだ。  
表彰台では笑顔の中国  
選手の脇で金メダルを見  
詰め「次を狙えるチャンス  
があれば狙いたいです」と  
早くも北京五輪での再挑  
戦を誓った。